

能代厚生医療センター 公開・オプトアウト書式

研究課題名：切除不能進行小腸癌患者に対する二次治療として、予後延長を期待した FOLFIRI 療法の実施

情報の利用目的及び利用方法：なし

目的：切除不能・再発小腸癌に対する一次治療として FOLFOX 療法を施行したものの病勢進行を認めた患者様に対して、これまでの文献的報告を参考にして、患者予後延長を期待した二次治療として FOLFIRI 療法を行うこと。

方法：二次治療として FOLFIRI 療法（外来もしくは入院）を行う。

※薬剤の投与量は大腸癌における FOLFIRI 療法に準拠する。

ロイコボリン 400mg/m²、フルオロウラシル 400mg/m²（ボーラス投与）

フルオロウラシル 2400mg/m²（46 時間持続投与）、イリノテカン 150mg/m²

対象者及び対象期間：2024 年 1 月～

切除不能・再発小腸癌に対する一次治療として FOLFOX 療法を施行したものの病勢進行を認め、全身状態が良好で、治療の副作用などを十分に御理解いただける患者様。

同時に Best supportive care や他の予後延長が期待できる化学療法レジメンなどを提示したうえで、FOLFIRI 療法の実施に御同意いただける患者様。

試料・情報の管理について責任を有する者：能代厚生医療センター外科 科長 石橋正久

お問い合わせ先 能代厚生医療センター 外科 石橋正久

TEL;0185-52-3111

備考：特になし